

健康と光線

欧州における光線事情 (3)

～コペンハーゲン、
ワルシャワを訪れて～

医学博士 宇都宮 正範

ワルシャワを後に

九月二十一日夕刻、私たち一行は、首都ワルシャワを後にして一路南下、聖母マリア像の絵画で有名な観光名所の一つ「チェンストホバ」を経由し、タルノフスキエ・グルイにまで移動した。高速道を数時間ひた走り、到着した時には午後十時をまわっていた。その日から二日間の滞在先は、バルバラ氏の知人のお城を改築した邸宅で、家具や調度品の豪華さに圧倒されたが、そ

のなかの一つの武具に記された家紋が、宇都宮家と同じ「抱き茗荷」であったことに妙な縁を感じたのである(写真1)。



1

リハビリ施設の訪問

翌日は朝から近くにある Gomoskaskie リハビリテーション

発行所
光線療法
普及協会

(年2回発行)

〒153-0063
東京都目黒区目黒
1-23-11
電話 (03)
5759-6333

ンセンターを訪問した写真2。



2

近隣諸国からリハビリ患者が訪れ、リハビリ目的のプール設備まで完備しているこの施設の規模に圧倒されたが、見学後、光線療法に興味を持たれている先生方を前に講演する機会を頂いた。ポーランドで二度目の講

演となったが、ご高名な先生方を前にし、緊張しながらも、日本における光線療法発展の背景、現在の位置づけ、実際の光線治療などについて説明。質疑応答では、光線療法に関する論文発表、研究成果の有無について問われ応えに窮したが、今後の課題として述べるにどうも協力を求めた写真3。



3

鉾山観光と晩餐会

午後には、僅かばかりの空いた時間を利用して観光すること

ができた。ここまで観光らしい観光はなかったため、鉾山と博物館の見学といった社会科見学のようなツアーであったが、日本から来た私たち三人は存分に楽しませてもらった。ちなみに帰国後、この鉛・銀・亜鉛鉾山とその地下水管理システムは二〇一七年にポーランドの世界文化遺産として登録されていたことを知り、貴重なツアーであったのだと懐かしく振り返った。

(写真4)

6ページに続く



令和二年 元旦

(株)東京光線メディカル
サナモア治療院ソレイユ

(二十九日から五日迄
休業とさせていただきます)

サナモアで生涯健康

—フレイル対策—

医学博士 宇都宮 光明

フレイルとは

フレイルとは、加齢に伴って認める頻度が増す健康と要介護の間の病態を示す言葉であるが、具体的には生理機能が衰退し、運動機能や認知機能が老いにより衰えていく状態のことで、老衰（虚弱、脆弱）に近似した意味で使われている。しかしフレイルが老いに伴う衰えを表わす言葉と言っても、一方的に進行するのではなく、サナモア光線療法の立ち位置でいえば、サナモア光線療法を用いることでフレイルの進行を予防し、またフレイルになってからでも元の健全な状態に戻せる可能性はある。

医の原点

あらゆる医療行為が成り立つ根底にあるのは、万人に生まれながらに自然治癒力（自己治癒力）が具わっているからであり、自然治癒力こそがすべての医療の有効性を担保する礎になっている。

いることは疑う余地のない事実である。しかるに一七世紀以降に著しい進歩を遂げたとされている現代医学が支配する現代社会では、医師が学んだ現代医学で病気を治すという建前を頑なに維持するため、医師の口から自然治癒力という言葉は聞くことはあまりない。

しかし紀元前五世紀にエーゲ海のコス島で生まれたギリシャの医師・ヒポクラテスは、それまでの呪術的な医療を否定して、病気を自然現象として捉える立場を貫いたことから現代医学の祖と呼ばれているが、病を治す医の原点は自然治癒力にあることを力説し、日光浴に自然治癒力を高めフレイルの進行を遅らせる効果があることを述べている。

フレイル対策

今回の題目は、サナモアで生涯健康・フレイル対策である。

フレイル予防で一般的に重視されているのは、

- ①蛋白質に富んだ栄養の摂取
- ②多めの運動
- ③十分な睡眠の確保
- ④身体の保温
- ⑤就労のような社会参加

などであるが、フレイルに関係する主要な要因は加齢にあることから、サナモア光線療法の効果にも限界があることは否めない。

ところでサナモア光線療法の治療法、病院で用いられる治療法と区別するため治療法と呼ぶことにするが、サナモア光線療法の治療法は、光線療法というシンブルな手法を用いて行う治療法であるにも関わらず、適応症は広くあらゆる疾病に及ぶのである。サナモア光線療法の適応症が広範に及ぶのは、医師が医業として行っている病気を病因に基づいて病名で個別に分類し、病名ごとに異なる治療法、

すなわち薬物療法、手術療法、放射線療法のように適応症が厳密に決められていて特異的な効果を期待して使う治療法ではなく、サナモアが目指すのは、治療対象のクライアントに太陽光に準じた光線を照射し、それに生体が反応して生体に備わっている自然治癒力が活性化し、フレイルで例示するなら、老いに伴う衰えを防ぎ、従前の健康な状態に戻す手助けをするのである。

なおサナモア光線療法の治療を行うと、生来身体に備わっているビタミンDの生成のような生理機能が活性化されるので、フレイルの予防、治療に効果が期待できるのであるが、それには治療対象のクライアントがフレイルかどうかを検討し、フレイルなら光線療法を試して見る価値がある旨を伝えた上で治療することになる。その結果、元の健康な状態に戻り、喜ばれることは少なくない。

謹賀新年

明けましておめでとうございます。

昭和七年創業の弊社は、今年満八十八歳を迎えます。人々言えは米寿です。多くの高齢者が元気に活躍される現代社会において、「健康寿命」が紙面に取上げられ、どうしたら「健康寿命」を延ばすことができるのかを考える機会も増えたと思



vol.74 宇都宮 正範

開講日程

6月12日(金)、13日(土)の2日間
*初日は午前9時に集合

講座内容

- (1)サナモア光線療法の基礎と生物学的作用
- (2)光線治療器のメンテナンス法
- (3)ループ式全身多灯照射療法の実践
- (4)医学総論
- (5)関係法規・開院のための準備

資格取得者の特典

- (1)サナモア販売における代理店資格の取得
 - (2)サナモアの名称使用
 - (3)治療院を開業する際の指導
 - (4)「健康と光線」への治験例投稿
- 申し込みの締め切り：6月5日(金)

ます。そのような時には、どうぞ光線療法を思い出ししてください。サナモアは「健康寿命」を延ばす治療法の一つです。

本年も職員一同、日々、研鑽を積み、皆さまのご期待に添えますよう頑張る所存でございますので、どうぞ末永く宜しくお願い申し上げます。

や光線療法について勉強したいとお考えの方は、(株)東京光線メディカル03-5759-6333までお問い合わせください。

第五十二回
「光と熱研究会」
関東支部講演会のお知らせ

講演テーマ
「光線療法のもつ力」

日時：四月二十五日(土)
午後二時から

場所：目黒区民センター
中小企業センター
五階会議室



盛岡にて



博多にて

東北支部講演会

九州支部講演会

東北支部講演会は、九月八日盛岡市にて、九州支部講演会は、十月十二日博多市にて、多くのご愛用者さま、光線治療師の先生方にご参加頂き開催することができました(写真)。

サナモア地方部会報告

2020年講演会予定

◆関西支部講演会

日時：3月13日(金) 午後3時から
会場：神戸市産業振興センター会議室801
住所：神戸市中央区東川崎町1-8-4
電話：078-360-3200
交通：JR神戸駅から徒歩5分

◆中国支部講演会

日時：5月22日(金) 午後3時から
会場：RCC文化センター 会議室700
住所：広島市中区橋本町5-11
電話：082-222-2277
交通：JR広島駅南口から徒歩10分

◆東海支部講演会

日時：6月26日(金) 午後3時から
会場：愛知県産業労働センター
ウインクあいち会議室1208
住所：名古屋市中村区名駅4-4-38
電話：052-571-6131
交通：JR名古屋駅桜通口から徒歩5分

治療例報告

サナモアで

気管支喘息の発作を治療

神戸市 ウエノ光線療研

上野 郷子氏 報告

TEL078-333-1135

症例 18歳 学生

症状 小児期より気管支喘息と皮膚の病気に罹患し、様々な治療を試してきたが、なかなか完治せず今日に至っている。今回、午後八時頃、急に喘息発作を起こしたため、近医の往診を受け、薬剤を四本注射しや落ち着くも、呼吸苦、喘鳴が持続。医師から、これ以上は危険なので難しいとの説明を受けた。

療法経過 治療に際し、呼吸苦を和らげることを第一と考えたため、A Bカーボンにて、膝下10分、足関節10分、足裏20分を繰り返し照射。二度目の膝下への照射が終わる頃には、少しずつ呼吸が楽になり、落ち着いて

話せるまでに改善した。

その後、A Aカーボンで、腹部10分、背部20分、集光して咽喉部を10分照射したが、喘息発

作時には、下肢の治療から入り、発作が鎮まるのを待って、体幹部への治療を行うことが大切である。

また気管支喘息に対しては、薬物で一時的に抑えるより、呼吸を深く、大きくする作用をもつ光線療法で、身体を内から健康にする方が望ましいと考えている。

治療例報告

膀胱癌に対する

サナモア使用経験

福岡県春日市 育美健康光線療研

山崎 いく子(旧姓前田)氏 報告

TEL092-581-0393
557-1157

症例 75歳 男性

症状 サナモアご愛用者。約二十年前に別の病気で使用していた。半年前、久しぶりの電話をいただき、膀胱癌で二度の手術を受けたが再発したため、三度

目の手術を医師から告げられたこと、もう手術は受けたくないのでサナモアで治療したいことを訴えられた。

療法経過 治療はB Dカーボンにて、下腹部全体を30分照射し、その後、第一集光器を使用して、患部である下腹部を一時間以上、時間の許す限り長時間照射するよう指示。さらに、免疫力を高めるため、足裏をB Cカーボンにて30分以上照射するよう説明した。

その数週間後に来所した際には、非常に調子が良い様子で、近々、病院で検査を受けるとのこと。その後しばらくして、医師から、三度目の手術は行わずに経過観察する旨の説明を受けたと安堵の表情を見せて、これからもB Dカーボンでサナモアを継続すると話された。

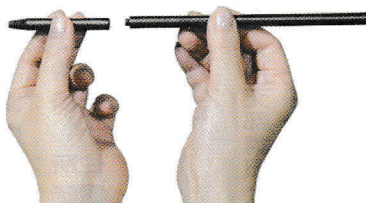
燃え残しなく使いきれる

エコロジーなジョイントカーボン

サナモアカーボンには、従来のレギュラーカーボンと接続可能なジョイントカーボンがあります。後者のカーボンは、燃え残り部分のカーボンを新しいカーボンと接合することで、あますことなく使用することを可能としました。

ご愛用者さまからの声にお応えするため、研究を重ねた末に完成したジョイントカーボンは、石炭が原材料のカーボンを完全に使い切るため、エコにも一役買っていると自負しております。

安全に光線治療器はつらつさん(H Sシリーズ)をご使用頂くために使用するカーボンは、ジョイントカーボンのみとなりますので、くれぐれもお間違いないようにお願い致します。



体験談報告

難治性のアレルギー性

皮膚湿疹を治療（前編）

岩手県 金野 奈美様 報告

当時中学三年になる私の娘は、夏頃からニキビが出現し、俗に言う青春のシンボルと気にもとめずに生活しておりました。しかし、すぐに本人も気にしたしたので市内の皮膚科に通院を始め一〇分間の電気治療と薬の治療が開始されました。簡単に治癒するものと思っておりましたが、高校の入学式を迎えた頃にはマスクで顔をかくすまでに広範囲に発赤していました。

一時よくなつてはぶり返し高校一年の夏にはマスクを外せなくなり、前回の明るさとポジティブな性格だったこと、一番は大好きなバスケットボール部での活動があったこと、これらが幸いして何とか過ごせておりました。

時、どれだけ辛いのかを思い知りました。この先修学旅行もある。バスケの試合も文化祭もある。ラスマッチも大学受験もある。娘には、高校生活、青春を謳歌して欲しい。こんなことで涙を流すことはさせたくないと強く思い私は決断しました。

今、病院への通院をやめて、盛岡の美容皮膚科を訪ねました。莫大なお金がかかっていい、命に関わる病気ではないが、娘から笑顔がなくなるくらいなら、お金なんて惜しくないと思いました。しかしながら盛岡までの通いには、何らかの不可抗力、リスクが生じる可能性があることに気づき、悩んでいた時、エスピオさんを思い出しました。長く同じ町に住んでいてエスピオさんはネイルサロンだと思っており、たどり着かなかったのですが、薬をもつかむ思いで扉を叩いたのです。

で、私は一人ではないと私自身が救われた気持ちになり全てをエスピオさんをお願いしようと思ったのです。

アレルギーの原因にあたる物、白い色の食器は極力回避するように言われ、自分で飼った犬が原因の可能性もあったため、思い切つて家を離れてアパートに引越す決断をしました。こうして高校二年の四月、不安なアパート生活が始まり、エスピオさんの光線治療、整皮、化粧水等のスキンケアが開始されました。この頃の娘はまだ投げやりの態度で、薬をやめることへの不安、悪化する不安でいっぱいだったと後で聞きました。

<皮膚科の処方薬>

- ①ミノマイシン(抗生剤)
アレグラ(抗アレルギー薬)
テブレノン
- ②セレスタミン(痒みの強い時)
黄連解毒湯(いらいらする時)
ピドキサル(ビタミン剤)
シナール(ビタミン剤)
- ③ダラシンTゲル
ディフェリンゲル
ベピオゲル
デュアック配合ゲル
- ④サレックス軟膏
パルデスクリーム+ヒルドイド軟膏(身体)
アズノール軟膏(口唇)
デルモゾールGローション(頭)
デルモゾールG軟膏(手指)

1ページから続く



その夜の晩餐はまたすさまじく、歓迎というより、料理にお酒にと、これでもかこれでもかと日本人の根性と胃袋を試されているようであった。私たち日本人にはあまり馴染みのないズブロッカというウオッカをあおるように飲み、次から次へと運ばれてくる料理を、こともなげに平らげているポーランド人の姿を見ると、人種の違いをひしひしと感じるのであった。私たち一行は、深夜十二時過ぎまで粘り席を後にしたが、当然のことながら、その宴に終わる気配すら感じなかった。

ありがとうワルシャワ

翌日の午前中、カチヨル氏ら

と今後のポーランドにおける光線療法普及に向けての話し合い、お互いの協力関係を確認。昼過ぎに今度はワルシャワに向け北上。ワルシャワに到着すると、

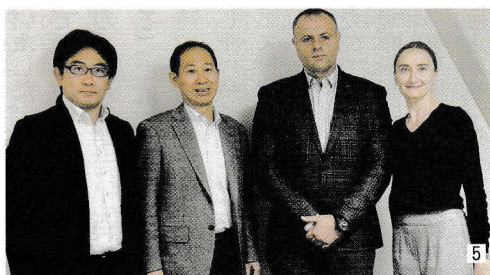
光線療法に興味を持たれている皮膚科の医師が待っていてくださり、皮膚疾患と光線療法に関する有意義なディスカッションを行い、全日程を終えた。

翌二十四日の朝、空港まで見送りに来てくれたカチヨル氏と通訳のアンナさんと再会の約束をして、成田に向けて出発した。四泊五日の駆け足の訪問であったが、現地の医療情勢、自然療法に対する考え方など学ぶことは多く、意義のある経験をさせて頂いたことに感謝感謝であった。

エピソード

このワルシャワ訪問をきっかけとして、カチヨル氏と当社の間でお互いの情報交換が始まり、翌年(二〇一九)十一月末には、カチヨル氏が二度目の来日を果

たされ、現在、さらに親交を深めている(写真5)。(完)



左から当社鷲見、宇都宮、カチヨル氏、アンナ氏(通訳)

サナモア体験記募集

光線療法普及協会では、皆様からの体験記を募集しております。なお掲載させて頂いた方には、薄謝を贈呈致します。

サナモア体験記の投稿について、メールでの募集も開始いたしました。下記のアドレスまで、お気軽にご投稿をお願い申し上げます。

メールアドレス：sanamore@hr.catv.ne.jp

SanaMore

光線療法普及協会

趣意書

光線療法普及協会は、日光が健康を増進する自然の恵みの源泉であり、病気の予防、治療に効果があるとの観点に立ち、光線療法の啓蒙、普及活動に努め、皆さまの健康維持に貢献します。

光線療法普及協会は、サナモアに対する認知と評価を高めるため、

一、季刊紙、「健康と光線」の発行

二、サナモア光線治療師の養成

の事業を行います。

光線療法普及協会

医学博士 宇都宮 正範

「健康と光線」の購読者を募集します。

また事業の詳細はお問い合わせ下さい。

〒153-0063 東京都目黒区目黒1-23-11

光線療法普及協会TEL(03) 五七五九-六三三三

(本紙の無断転用を禁止します。)